



廣部 真造 議員

高島市内における  
新型コロナウイルス  
感染症の対応について

問

高島市内における  
新型コロナウイルス感染症  
の対応について。

答

市医師会と地域医療連携推進法人滋賀高島  
とより強い連携を求めていきたい。

問

市内開業医院を含む医療機  
関同士の連携体制はどのよう  
になっているのか。

答

健康福祉部長

インフルエンザの流行と新  
型コロナウイルス感染症によ  
る多くの市民の方の受診が想  
定される中、診療体制の整備  
が必要であると認識しており  
ます。高島市民病院におい  
ても体制強化を図っていますが、  
高島市医師会や地域医療連携  
推進法人滋賀高島におきまし  
ても、新たな発熱外来の設置  
に向けた検討を進めていただ  
いています。

問

年齢に無関係に無料でイン  
フルエンザ予防接種をすべき  
であると考えが。

答

健康福祉部長

従来から実施しております  
65歳以上の高齢者等に加え、  
優先度が高いとされています  
義務教育以下の子どもや、妊  
婦につきましても助成対象を  
拡充する方向で、現在検討し  
ています。

問

介護福祉施設の協力体制に  
ついて。

答

健康福祉部長

滋賀県において、事業所間  
における相互応援システムの

問

問

発熱外来についてもう少し  
詳細に説明をお願いします。

答

病院事務部長

仮設ハウスを設置すること  
で、一般外来と本来の救急外  
来に加え成人の方、小児の方  
それぞれの発熱外来を分け、  
感染防止と感染者および感染  
の疑いのある方の診察体制も  
充実していけるのではないかと  
考えております。また、電

全県的な構築に向け検討中  
であります。本市も、県が構築  
を進めている相互応援システ  
ムに沿い、関係機関と協議を  
進めるところです。

話予約制とすることで患者様  
の待ち時間に伴う負担の軽減  
と、検査を含めた診察の効率  
化を図るため実施させていた  
だくものです。

問

発熱外来における予約電話  
時の対応について。

答

病院事務部長

症状に応じて臨機応変に対  
応する必要があると考えてお  
ります。



発熱外来



インフルエンザ予防接種